

Q&A

一般質問



やました しんじ
山下 真司 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら！

心身障がい者医療費助成制度の対象者拡大を

Q 一部の自治体では療育手帳区分B（軽度）の資格者に対する医療費助成がある。本市においても同様の助成ができないか伺う。

A 香川県内において療育手帳区分Bまでを医療費助成の対象としている自治体は9市町ありますが、中讃地域では実施されていません。

療育手帳区分Bについては県費の補助対象外となるため、対象者を拡大した場合は、子ども医療費助成などの対象者を除いた約100人分の費用が市費の負担増となります。現段階においては対象者を拡大する予定はありませんが、県にも働きかけながら実施について研究していきます。

(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・高齢者運転免許証自主返納支援事業について
- ・地域公共交通について

府中湖カヌー競技場にナショナルチームの合宿誘致を

Q 府中湖カヌー競技場にナショナルチームの合宿を誘致すれば市のにぎわい創出にも寄与すると思われるが、市の見解は。

A 令和元年にトレーニングセンターを整備したことにより、令和2年度と4年度に日本代表女子チーム、令和3年度に日本代表男子チームが合宿しています。

代表チームの合宿は日本カヌー連盟が決定しており、石川県木場潟競技場がカヌー競技のナショナルトレーニングセンターとして認定されているため、非常に厳しいと考えられます。

本市としては、カヌー連盟に対し、引き続き合宿地としての利用を働きかけるとともに、にぎわい創出につなげる広報手段についても検討していきます。

(教育部長)

ひがしはら あきら
東原 章 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら！

高齢者買物支援実証実験におけるかいご課のサポート体制は

Q 対話型コマースによる高齢者買物支援実証実験におけるかいご課の参入目的とサポート体制について伺う。

A 一人暮らしの高齢者や高齢夫婦のみの世帯が増加し、在宅支援の充実が必要となる中、本市としても多様な事業主体による取組を推進するために参入しました。生成AIと地域力が一体となる実証実験において、かいご課としてはAIとの会話を通じた認知症予防の効果を期待しています。

今回の取組は、買物支援が主な目的で、認知症に特化したものではありませんが、実証実験の前後で認知機能に関する簡易テストを実施します。その効果を検証し、今後の施策に生かしていきます。

(健康福祉部長)

アッケシソウの保護に協力を

Q まちづくりの会でアッケシソウを育成したいと考えているが、栽培方法の指導や保護育成事業への協力について、市の考えを伺う。

A アッケシソウについて、香川県においては近い将来絶滅危険度の高い植物として分類されています。本市ではそのような植物の栽培方法や保護育成についての有効な知識を持っていませんので、環境省、県、保護実績のある自治体など、関係機関と連携を図る中で情報収集を行います。また、地元のみちづくりの会の方々に環境保護団体や本市と協定を結んでいる民間団体を紹介するとともに、協力依頼も行うことで、保護育成活動に協力していきます。

(市民生活部長)

質問の主な項目

- ・公共交通について
- ・学びの環境について
- など